

会議録（１）

会議の名称	第9回飯能市地域公共交通対策協議会
開催日時	令和元年5月24日（金） 開会 午前10時 閉会 午前11時27分
開催場所	飯能市役所 本庁舎 5階 第1・第2委員会室
会長氏名	飯能市副市長 上 良二
出席委員	吉田 樹、中村 浩幸、関根 康洋、堀米 康史、鶴岡 洋、 松原 緑、長田裕太郎、原 清、和田 毅、本橋 実、 加藤 恵司、渡辺 正幸、浅見 浩士、粕谷 平蔵、細田 幸二、 小柳謙太郎、古島 照夫、根岸 甚高、梶山 吉之、新井洋一郎 （岡安委員代理：青木 宏之）、（浅見国委員代理：中村 晶代）
欠席委員	山本 道夫、石井 英子、大野 康、大野 悟、田中 雅夫、 平野 功
説明者の職氏名	飯能市市民生活部長 町田 守弘 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室室長 佐野 敬子 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室主任 井戸入大輝
傍聴者の数	0名
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	飯能市市民生活部長 町田 守弘 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室室長 佐野 敬子 飯能市市民生活部生活安全課交通政策室主任 井戸入大輝

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

（１）本協議会の第９回目の開催にあたり、事務局長から開会が宣せられたのち、以下のとおり報告等をした。

- ・会長挨拶 : 会長（上副市長）から開会に際し、挨拶をした。
- ・委員変更の報告 : 事務局長から報告をした。
- ・欠席委員等の報告 : 事務局長から報告をした。

（２）平成３０年度実績報告について

事務局から、以下の資料に基づき説明した。

- ・飯能市地域公共交通網形成計画 平成３０年度実績報告（概要版） 《資料１差替》
- ・飯能市地域公共交通網形成計画 実績状況（平成３０年度） 《資料１－２》

内容は了承され、委員から意見等が寄せられた。

（３）令和元年度事業計画について

- ・飯能市地域公共交通網形成計画 令和元年度事業計画 《資料２》

内容は了承され、委員から意見等が寄せられた。

（４）その他（議事内）

以下について事務局から報告した。

- ・奥武蔵小学校スクールバス一般住民の混乗制度の開始について
- ・「地域主体による交通手段の導入・確保の手引き」の発行について

委員から意見等が寄せられた。

また、各バス事業者から近況報告が行われた。

（５）その他 特になし

（６）閉会

会議録（３）

発言者	発言内容
事務局長	<p>（開会）</p> <p>それでは、次第に沿いまして協議会を進めさせていただきます。はじめに、協議会の会長であります上副市長からご挨拶を申し上げます。会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>（挨拶）</p>
事務局長	<p>（委員変更の報告）</p> <p>（欠席委員等の報告）</p> <p>（協議会公開の旨報告）</p> <p>（傍聴人報告、０人）</p> <p>それでは、議事に移らせていただきます。議事の進行につきましては、協議会開催要綱第５条により、本協議会の会長であります上会長にお願いいたします。会長、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議事を進めさせていただきます。議事（１）「平成３０年度実績報告について」を議題とさせていただきます。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料１ 差替」 飯能市地域公共交通網形成計画 平成３０年度実績報告（概要版） ・「資料１－２」 飯能市地域公共交通網形成計画 実績状況（平成３０年度）に基づき説明
会長	<p>ただ今の件につきまして、ご質問、ご意見等はございますか。</p>
委員	<p>総合福祉センターの送迎バスについて、精明地区であまり知られていない現状がある。</p>

会長	市としても数年前から当該施設の送迎バスの有効な使い方等について課題になっている。もう少し掘り下げて検討し、積極的に対応していく。
委員	J R 東飯能駅の内方線付き点状ブロック整備事業について、市から補助金を頂いた。この場を借りて御礼申し上げます。
事務局	現在、全国的に整備が進んでいる中でご対応いただき、駅の安全面の確保に繋がった。引き続きよろしくお願ひしたい。
委員	<p>(資料1-2より) 高等学校等バス通学費補助について、補助件数が2割程度減少している。その原因について確認できているか。</p> <p>(資料2より) 基本目標1の目標指標、途中経過において若干減になっている。飯能市では様々な事業を展開しているが、今後、市でどの事業を重点的に続けていくのか、また、どの事業が最も効果、手応えがあったのかについて伺いたい。</p>
事務局	<p>1点目のバス通学費補助の減少の原因について、地域の高校生が減少していること、また、補助対象者全員が制度を活用しているわけではないことが挙げられる。今後、教育委員会とその原因についてアンケート等で調査をしていく。市でも重要な問題であると認識している。</p> <p>2点目の目標指標の途中経過が前年比から若干減少している件について。現在、地域、交通事業者等に協力をいただきながら事業を進めている。重点を置いていく事業として、メツツアをはじめ、他の観光施策、市内コンテンツの活用と併せて利用促進を行っていくことが挙げられる。また、地域住民の方と現状に対する危機感を共有しながら施策を実施していきたい。</p>
委員	<p>1点目について、是非進めてもらいたい。</p> <p>2点目について、事業効果についてウォッチしていくことが必要である。例えば、事業の際に地域に入って行って、事業後に公共交通を使ってみたか等について簡易的にでも調査することで、事業企画する際などの勘どころがつかめ</p>

	<p>てくる。そういう取組が、長い目で見ると飯能市のノウハウに繋がるので、各事業の効果の把握に努めてもらいたい。</p> <p>会長 若干、補足をさせていただく。通学費補助について、事務局も現状を把握している。担当で分析を行って、報告をしたい。</p> <p>2点目の重点事業に関することについて、私たちが思っている以上に飯能市は知られていない現状がある。メッツァ等によりメディアで取り上げられることでやっと世間の皆さんに知られてきた実感がある。地域住民に公共交通を使ってもらうことには限界もあり、新たな施策を打つことが大切である。現在、名栗地区のさわらびの湯周辺の土地で民間のノウハウを活用し、新たな観光拠点を設ける準備を進めている。名栗地区の住民を主人公にして、地区の皆さんと地区の活性化につながる施策を積極的に進めていく。</p> <p>委員 1点目、「奥武蔵らくらく交通」について、県内で2例目ということもあり、適宜情報を収集し、報告を頂きたい。しっかり状況把握に努めていただき、他地域での事例紹介につなげたい。</p> <p>2点目、今年3月にムーミンバレーパークがオープンしたが、今後、観光施策の面でもメッツァが占める役割は大きい。開業に伴い、現状及び推移についてデータ収集等に努め、公共交通政策に反映していくことが大事である。</p> <p>会長 1点目については事務局から、2点目については本市企画部長からお願いしたい。</p> <p>事務局 1点目の「奥武蔵らくらく交通」の現状について報告する。徐々に利用者が増えており、吾野地区だけでなく、東吾野地区の住民の利用も増えている。自宅から駅までの利用が最も多い。利用者からは「とても助かっている」との声も届いている。ドライバーも一生懸命やっている。今後、ドライバーの確保が課題であり、市では運転手講習会の開催等で支援していく。数値等のデータは次回報告する。</p> <p>委員 2点目のメッツァ開業に伴う影響について、11月の開業から3月までで来</p>
--	--

	<p>場者が50万人を超えた。また、このGWだけで10万人の来場があった。その中で公共交通の利用者について正確な数値は把握していないが、バス待機列が飯能駅北口から南口階段付近まで延びることがある状況であった。交通事業者各位にも待機列の誘導、臨時便運行など柔軟に対応いただいている。当初の見込みよりも多くの来場があり、運営会社のムーミン物語社によると、当初の年間来場者数は100万人であったが、200万人に目標値を定めている。メツァだけでなく、天覧山・飯能河原周辺には昨年67万人、トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園については来場者が初めて25万人を突破している。市の掲げる都市回廊空間を中心に多くの人に来ており、その人の流れを中心市街地、商店街、あるいは山間地域につなげていくことが大きなミッションである。すでに商工会議所を中心に商店街の方々にもインバウンド対応を含めた様々な施策に取り組んでもらっている。</p>
委員	<p>メツァ来場者に対して、市内の他地区をいかに案内するかが大事である。</p>
会長	<p>その他、ありますでしょうか。ないようでしたら、次の議題に入らせていただきます。</p> <p>(意見なし)</p>
会長	<p>それでは、議事(2)「令和元年度事業計画について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>・「資料2」飯能市地域公共交通網形成計画 令和元年度事業計画に基づき説明。</p>
会長	<p>この件につきまして、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>事業計画について、若干補足をさせていただく。施策2について、名栗地区では「名栗でわくわく！親子で川遊び体験」を実施し、毎年好評を得ている。昨年度まで借上バスだったが、昨年度から交通費を各自負担で参加してもらっている。参加者が減少することを懸念したが、各自負担だと再度名栗を訪問する際に料金負担のイメージがわかりやすい。借上バスだと直行になるので分かり</p>

	<p>にくい部分があった。</p> <p>その他、名郷味市、なぐり見聞食ブラさんぽなど地域イベントを開催しているが、最近民法2社でテレビ取材があった際、食堂がどの辺にあるのか等について各イベントの情報がロケ班の資料になっていた。また、国際興業の協力で発行している「わくわくNAGURI通信」について、冠雪した桜等の写真の掲載している。引き続き、地域の魅力を発信していきたい。</p> <p>通学バスの補助件数の減少について、今まで住民の足であった国際興業バスが今度どうなるのかを暗示しているような気がする。名栗地区でも、吾野地区のような移動交通の取組の検討が必要になってくるのではないかと。わくわく名栗クラブが中心になって、社協等と連携しながら進めていきたい。</p>
会長	<p>ありがとうございます。引き続き、ご協力をお願いします。他にありませんでしょうか。</p>
委員	<p>メツァ客は公共交通を利用する方が多いという印象がある。マイカー利用客は広範囲でまわるが、公共交通の利用者は市内を密度高くまわる傾向があるので、飯能市でも活かせるのではないかと。具体的には、基本目標にも掲げている「飯能駅北口に案内看板を設置する」という取組が挙げられる。</p> <p>先日、メツァに行った際にインバウンド客がカップルまたは家族連れで来ているケース、平日の夕方でもいわゆる「女子旅」で来ているケースが目立った。つまり、複数人で来ていることが多い。運賃が（割り勘ができないので）人数分かかるのがバス旅の弱さである。そこが他地区を上手く回ってくれない要因になっているのかもしれない。また、「メツァからトーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園まで」をグーグルマップで検索すると「公共交通では行けない」と出るため、利用者はそれをもって公共交通では行けないと判断している可能性も考えられる。どこの地域でも1か所目の観光地は来てくれても、2か所目以降来てくれるかが課題となっている。試行錯誤して、小さな試みでもメツァ客が他地区を回ってくれる工夫を考えていく必要がある。</p>
会長	<p>メツァとトーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園に関連する今年度の予算措置について説明をお願いします。</p>
委員	<p>メツァの前を通る道路とつながる阿須小久保線の整備を区画整理事業と連動して計画的に進めている。岩沢地内の区画整理地区において西武鉄道の線</p>

<p>会長</p>	<p>路を超える跨線橋工事を進めており、令和3年度の跨線橋開通を目指して進めている。また、国道299号線と双柳岩沢線の交差点の工事が令和2年度の完了を目指している。これらの工事の完了により、令和3年度にはメツァからトーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園へ大型車両が通り抜けできるような道路ができるように進めている。</p> <p>若干の補足をさせていただく。トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園へのルート整備は待ったなしの状態である。トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園入口のところに信号機、右折帯を設置し、供用開始の準備をしている。また、公園内に大型バスがUターンできるスペースを整備することについて今年度予算措置をしている。</p> <p>メツァ来訪後、飯能駅まで戻り、南口からトーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園に向かい夜のライトアップを楽しんでもらうというような、両施設を楽しんでもらえるプランが実現できるように進めている。予算措置を積極的に行っていく。</p> <p>他にありませんでしょうか。</p> <p>(意見等なし)</p>
<p>会長</p>	<p>それでは次に、議事の(3)その他について、事務局から何かありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは事務局から2点ご説明をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥武蔵小学校スクールバスの一般住民の混乗制度の開始について、資料(チラシ)に基づいて説明 ・「地域主体による交通手段の導入・確保の手引き」の発行について、資料(概要版)に基づいて説明
<p>会長</p>	<p>ただ今の件につきまして、ご意見、ご質問等はございますか。</p>

委員	<p>移動手段の確保の方法については、色々な選択肢があり得る中で、地域の人たちが何を選んでいくかが重要である。</p> <p>(概要版の3「地域主体による交通手段の導入・運行手順」のフロー内の記述について) どのように仲間作りをしてくのかに加えて、実際に移動サービスを走らせてみるにより机上の議論では想像できないことも具体的にイメージできるようになる。それにより、議論も前向きに進む。現に、飯能市でも色々な資源を活用しながら交通手段を確保していくことが進みつつある。実際に手引きを手に取り、考えてみたいという地域の方々を応援できるような仕組みを協議会でもとれるようにしていくことも必要である。また、新しい移動サービスを既存のバス、タクシー等の公共交通サービスと密接につなげていく必要もある。飯能市は既存のバスの経路変更で移動をカバーするなど、既存の交通手段を活用する選択肢をもって進めている。この手引きが市内の様々な事例を通して育て上げられていくと良い。</p>
会長	<p>ありがとうございます。この手引きを皆さんもご活用いただければと思います。</p> <p>それでは、前回の協議会が1月でしたので、飯能駅周辺の状況や路線バスの状況が大きく変化したと思います。その状況等について、交通事業者の皆さまにお話しただけることがございましたらお願いできますでしょうか。</p>
委員	<p>(国際興業バス)</p> <p>先ほどのお話のとおり、3月16日に西武飯能日高線の経路変更を行った。変更日に停留所の状況を確認したが、地元住民の方が停留所で時刻表、行先を確認している姿が印象的であり、経路変更及び停留所の設置によって地元住民の方に反響があることを再確認した。</p> <p>通学バスの補助の2割減について、補助対象の定期券の発行が減っていることについても確認している。学生が減っていることに加え、地元中学に行く生徒が減っていることも要因の1つである可能性がある。この点について市の交通政策室と確認していきたい。今年度の事業計画を見ても、弊社が協力することが多くある。これから秋のお散歩マーケットなどもあり、引き続き地元の方との意見交換も行いながら進めていきたい。</p>
委員	<p>(西武バス)</p> <p>メツァシャトルバス運行について関係者各位へ厚くお礼申し上げます。現在、3社でシャトルバス運行を行っており、イーグルバス社の生活路線含め平</p>

	<p>日60往復以上、土休日100往復以上飯能駅から運行している。東飯能駅からは平日12往復、土休日20往復運行している。GWも非常に多くの方に利用いただいたが、バスの配車について苦勞し、駅の協力もあり、何とかしのぎ切ったところである。市内にとっても良い施設ができて、地域が活性化し、公共交通の利用が増えることは大変喜ばしいことであるので、バス会社としても一生懸命頑張っていきたい。</p> <p>一方で、運転手不足が深刻な状況である。市からもトーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園へのバス運行のご要望をいただいているが、メッツァへの運行便でも精一杯であり、新たな路線等への取組は困難な状況である。飯能市では非常に良いかたちで移動手段の導入手引きができたところでもあるので、色々な輸送を組み合わせながら地域に合った移動手段を検討していくことが大事である。</p> <p>(イーグルバス)</p> <p>当初、メッツァがオープンした11月には既存の生活路線に相当な遅れが出ており、利用者からも苦情が来ていた。3月16日のダイヤ改正をもって、関係各位の協力もあり、以前ほどの大幅な遅れが解消できたところである。引き続き、生活路線の維持、確保に努めていきたい。</p>
委員	
会長	<p>ありがとうございます。他の皆さまからも、公共交通の利用促進やその他移動手段等について何かご意見等はございますか。</p> <p>(意見なし)</p>
会長	<p>ないようですので、「その他」につきまして以上でございます。</p> <p>最後に、市で様々な取組を進める中で「メディアの力」について一言申し上げる。市内の自宅から出てくる際に、名郷行きのバスとすれ違う。今朝もハイカーが座席に座れず、立って乗車するほどの状態であった。</p> <p>市を売り込むということを市役所が取り組み、それをメディアに取り上げられることによって他の色々な施策に大きな影響及ぼしていくということを再確認した。引き続き、職員一丸となって様々な施策に取り組んでいきたい。</p> <p>これをもって、進行を事務局にお返しします。</p>

事務局長	<p>(その他) なし</p> <p>それでは、以上をもちまして、第9回飯能市地域公共交通対策協議会を閉会とさせていただきます。長時間にわたるご議論、ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>
------	---